

東洋紡株式会社が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、東洋紡株式会社（以下「本法人」）が発行する第 43 回社債（ソーシャルボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021 年 12 月 7 日）。

「ソーシャルボンド」とは、調達資金の使途が社会的課題の解決に資するものであることに限定された債券です。

本債券による調達資金は、医用膜製造に係る費用（人口腎臓用中空糸膜及びウイルス除去膜等の医用膜の研究開発及び設備投資に係る費用）と試薬製造に係る費用（診断薬、遺伝子検査試薬等の原料酵素等の研究開発及び設備投資に係る費用）へ充当いたします。

また、本債券は、独立した外部機関である株式会社格付投資情報センター（R & I）より、ソーシャルボンド原則 2021（ICMA）及びソーシャルボンドガイドライン（2021 年策定 金融庁）との適合性に対するセカンドオピニオンを取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上